

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成30年4月1日

計画の名称	33 甲南駅周辺地区における鉄道駅へのアクセス向上と交通結節機能の強化による安全で快適なまちづくり	重点配分対象の該当	○
-------	---	-----------	---

計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）	交付対象	甲賀市
-------	--------------------	------	-----

計画の目標

甲南駅周辺地区は、JR甲南駅にアクセスする幹線道路が一路線のみで、JR草津線により分断された線路北側からの利用者は狭隘な踏み切りを渡る必要があり、また駅周辺の道路や駅南側のみに設置された駅前広場の幅員も狭く十分な歩道が設置されていないことから、混雑時においては歩行者の安全確保や車両等の円滑な通行に支障をきたすなど、利便性が悪い状況である。
これらのことから、駅周辺地区を総合的・一体的に整備することにより、駅周辺の円滑なアクセスや交通処理の向上を図るとともに地域の拠点性と生活利便性の向上を高め、安全で快適な交通結節空間の形成を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

①歩行者の利便性の向上として、駅へのアクセス時間を短縮する。（近隣の住宅地からのアクセス時間の約2割削減を目標とする。）
②交通結節点の改善・充実により、JR甲南駅及びその周辺の利便性満足度を高める。（半数以上が整備前よりも良くなったと回答することを目標とする。）

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値										備考		
	当初現況値		中間目標値		最終目標値								
	(H26当初)		(H28末)		(H30末)								
①近隣の住宅地からの歩行者のアクセス時間										8分	8分	6分	
②深川区を対象としたアンケート調査の実施における甲南駅の利便性に関する満足度指数（5段階評価、普通を3、とても良いを5、とても悪いを1とした指数）										2.1	2.1	3.0	
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,240百万円	A	1,240百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%	

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
33-A-1	街路	一般	甲賀市	直接	甲賀市	(都) 甲南駅南北線ほか2線	自由通路 L=70m、道路新設 L=470m、駅前広場	甲賀市						1,240	-	-	
合計													1,240				

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計													0				

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	66.3	58.4	46.8	65.1	
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0	0.0	
交付額 (c=a+b)	66.3	58.4	46.8	65.1	
前年度からの繰越額 (d)	0.0	20.1	10.0	32.5	
支払済額 (e)	46.3	68.4	24.3	34.5	
翌年度繰越額 (f)	20.1	10.1	32.5	63.1	
うち未契約繰越額 (g)	20.1	0.0	10.1	11.5	
不用額 (h=c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0	0.0	
未契約繰越+不用額 (i=(g+h)/(c+d))	30.3%	0.0%	17.8%	11.9%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている	用地交渉において、地権者との協議に不測の日数を要したため。		アクセス道路となる甲南駅前線について、当初部分供用しながら併せて舗装工事を実施する予定であったが、地元より部分供用を行わず、全線供用が可能な段階で舗装をすよう求められたため。	道路舗装工事にあたり、道路に隣接する地権者に対して、上下水道の埋設管が必要な開発行為があるか確認と調整を図ったところ、調整に不測の日数を要したため。	

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。